# Fund Letter

## きらぼし・東京圏応援株式ファンド（愛称：きらぼし東京）

## ポートフォリオの構築状況と今後の見通しについて

2018年8月10日

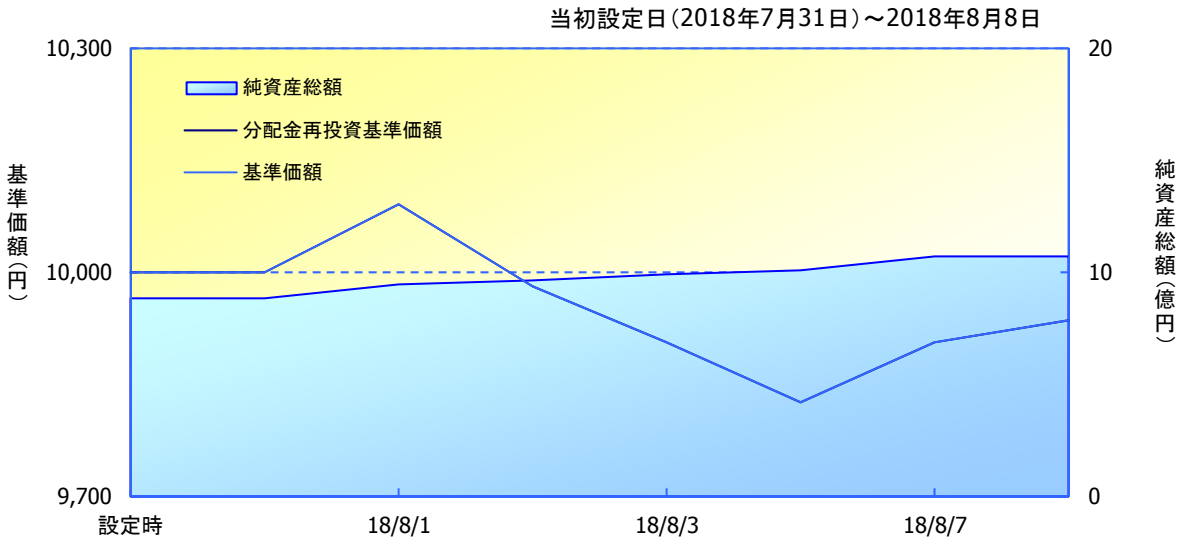
平素は、「きらぼし・東京圏応援株式ファンド（愛称：きらぼし東京）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの設定後の運用状況について、お知らせいたします。

### ≪基準価額・純資産の推移≫

2018年8月8日現在

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 9,935 円 |
| 純資産総額 | 10億円 |




※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。


**当資料のお取り扱いにおけるご注意**

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒　大和投資信託　フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）　HP http://www.daiwa-am.co.jp/

大和投資信託
Daiwa Asset Management

# 当ファンドの注目点

## ★まだまだ変わりゆくTOKYO★まだまだ成長していくTOKYO★
## ★そんなTOKYOを再発見！ ★

### ファンドのポイント

当ファンドでは、東京圏の経済活性化により恩恵を受けることが期待される銘柄に投資を行なっています。

ポートフォリオの構築にあたっては、東京圏の6つの成長テーマである「建設・インフラ(社会基盤)」、「不動産」、「観光・消費・サービス」、「AI（人工知能)・ロボット・IoT（モノのインターネット)」、「交通・物流」、「金融」に着目し、**東京圏の新たな成長を応援**する銘柄を選定します。

また、テーマの魅力度に加えて、国や地方自治体の政策動向、マーケット環境、個別企業の業績動向や株価位置、バリュエーション等を精査することで、**きらりと光る銘柄の発掘**に努めています。

**当ファンドで注目する6つのテーマ**

## ６つのテーマの注目点と組入銘柄

当ファンドの6つのテーマの注目点と組入銘柄は下記の通りです。

**①建設・インフラ：大型再開発案件や東京五輪関連の企業などに注目**

組入銘柄：電気設備や情報通信設備などのインフラ関連工事が強みで首都圏を地盤とする関電工や、火災・防災・安全性の強化の取り組みから恩恵を受けるホーチキなど。

**②不動産：ヒトを惹きつける「働く」「住む」「楽しむ」空間を提供する企業などに注目**

組入銘柄：一等立地でのオフィスビルや高級マンション、大型商業施設の開発に強みを持つ三井不動産や、品川や高輪エリアなどの保有資産の有効活用が期待される西武ホールディングスなど。

**③観光・消費・サービス：訪日外国人に人気の観光スポットやサービスを提供する企業などに注目**

組入銘柄：世界屈指のテーマパーク「東京ディズニーリゾート」を運営するオリエンタルランドや、Wi-Fiルーターのレンタルを行なうビジョンなど。

**④AI・ロボット・IoT：最先端の技術活用に強い企業などに注目**

組入銘柄：AI・ロボット・IoT社会における「デジタルの目」の機能を果たす画像センサー大手のソニーや、半導体の基板材料であるシリコンウエハーを製造するSUMCOなど。

**⑤交通・物流：物流施設需要や交通アクセス改善により恩恵を受ける企業などに注目**

組入銘柄：東京港や羽田空港からアクセスが良好な立地での倉庫賃貸を行なっている東京都競馬や、羽田空港の機能強化により利用者数の増加が見込まれる日本空港ビルデングなど。

**⑥金融：新しい金融ビジネスの創出力がある企業などに注目**

組入銘柄：デジタル通貨「MUFGコイン」の実証実験などを行ない新しい取り組みに積極的な三菱UFJフィナンシャル・グループや、スマートフォン決済サービスを提供する企業のビリングシステムなど。

### 組入上位10銘柄(2018年7月末時点)

| 組入上位10銘柄 | | 合計32.5% |
|---|---|---|
| 銘柄名 | 東証33業種名 | 比率 |
| ソニー | 電気機器 | 4.5% |
| トクヤマ | 化学 | 3.5% |
| オリエンタルランド | サービス業 | 3.4% |
| SUMCO | 金属製品 | 3.2% |
| MARUWA | ガラス・土石製品 | 3.2% |
| 共立メンテナンス | サービス業 | 3.1% |
| 東京都競馬 | サービス業 | 3.0% |
| 三井不動産 | 不動産業 | 3.0% |
| 三菱UFJフィナンシャルG | 銀行業 | 2.8% |
| 電通 | サービス業 | 2.8% |

※比率は、純資産総額に対するものです。

## 業種別・規模別構成

### 業種別構成

訪日外国人の増加などから恩恵を受ける「観光・消費・サービス」関連銘柄に注目した結果、サービス業が組入上位となっています。また、社会全体での活用が加速している「AI・ロボット・IoT」関連銘柄に着目した結果、電気機器や化学のウエートも高位となっています。

### 規模別構成

東京圏の経済活性化により恩恵を受けることが期待される銘柄をボトムアップアプローチによって選別した結果、下記の通り、大型株から小型株まで幅広く投資を行なっています。

## 主要な資産の状況（2018年7月末時点）

| 資産別構成 | | |
|---|---|---|
| 資産 | 銘柄数 | 比率 |
| 国内株式 | 91 | 94.5% |
| 国内株式先物 | --- | --- |
| 不動産投資信託等 | --- | --- |
| コール・ローン、その他 | | 5.5% |
| 合計 | 91 | 100.0% |
| 株式 市場・上場別構成 | | 合計94.5% |
| 一部（東証・名証） | | 92.6% |
| 二部（東証・名証） | | 0.3% |
| 新興市場他 | | 1.6% |
| その他 | | --- |

| 株式 業種別構成 | 合計94.5% |
|---|---|
| 東証33業種名 | 比率 |
| サービス業 | 13.7% |
| 電気機器 | 12.6% |
| 化学 | 12.2% |
| 不動産業 | 9.5% |
| 銀行業 | 7.5% |
| 情報・通信業 | 5.4% |
| 卸売業 | 5.1% |
| ガラス・土石製品 | 4.5% |
| 輸送用機器 | 3.9% |
| その他 | 20.2% |

※比率は、純資産総額に対するものです。

| 規模別構成 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 規模 | | | 比率 | 銘柄数 |
| TOPIX | 規模別（時価総額） | 超大型（TOPIX Core 30） | 29.8% | 17 |
| | | 大型（TOPIX Large70） | 18.4% | 15 |
| | | 中型（TOPIX Mid 400） | 23.0% | 22 |
| | | 小型（TOPIX Small） | 26.9% | 33 |
| | | その他 | 0.0% | 0 |
| 東証2部、名証等 | | | 0.3% | 1 |
| ジャスダック | | | 1.1% | 2 |
| 東証マザーズ | | | 0.6% | 1 |
| 新規上場銘柄等 | | | 0.0% | 0 |
| 合計 | | | 100.0% | 91 |

※「その他」は東証1部に所属して間がなく、各規模別指数あるいはTOPIXにまだ振り分けられていない銘柄を表します。

※比率は、株式ポートフォリオに対するものです。

# 今後の見通しおよび運用方針

## 今後の見通し

国内株式市場は、短期的には米中貿易摩擦の動向などの影響を受けやすい展開が続くと想定しています。一方では、中国政府は景気下支えを狙って財政出動を打ち出す方針であり、米国でも農家支援策を発表するなどの対策に動き出していることから、堅調な世界経済に対する見通しを引き下げる状況にはないとみています。

4-6月期の国内企業決算は増益基調が確認できる底堅い内容となっており、貿易戦争への過度な懸念が後退すれば、堅調な世界景気や企業業績が改めて見直されることで、株式市場は次第に上昇基調を取り戻すと考えています。

## 今後の運用方針

当ファンドでは、国内外の経済環境や企業業績動向を見極めつつ、東京圏の経済活性化の恩恵を受けて、中長期の成長が期待できる銘柄に着目し運用してまいります。

東京圏の経済活性化を後押しする材料としては、訪日外国人の増加（政府目標：2030年に6,000万人）や2020年の東京五輪開催などに注目をしています。東京圏で活躍する企業にとって、訪日外国人が増加傾向にあることは、コト消費・モノ消費に対する強い需要を取り込みながらビジネス基盤を拡大する絶好の機会です。

2020年の東京五輪という世界最大の見本市を通して、自社の製品やサービス、技術力などを世界中にアピールすることで、リピート顧客の獲得や海外展開など、今後のビジネスの発展につながるチャンスになると考えます。加えて、魅力ある都市づくりのための環境整備や先端技術の社会全体での活用が更なる東京圏の成長を後押しすることを期待しています。

上記のような見通しのもと、東京圏の成長テーマである「建設・インフラ」、「不動産」、「観光・消費・サービス」、「AI・ロボット・IoT」、「交通・物流」、「金融」に着目して、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（以上）

## ＜上位10銘柄のご紹介＞　2018年7月末時点

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

| | 銘柄名 | テーマ分類※ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 銘柄紹介 | 建設・インフラ | 不動産 | 観光・消費・サービス | AI・ロボット IoT | 交通・物流 | 金融 |
| 1 | ソニー | | | | ● | | |
| | 画像センサーはスマートフォン向けで世界トップシェア、今後は自動運転普及に伴い自動車1台当たりのカメラ搭載個数の増加による恩恵なども期待される。またAI搭載の犬型家庭用ロボットaiboを発売するなど、AI、ロボットに力を入れている。4Kなど高付加価値製品へシフトしているテレビ事業は、五輪を前に買い換え需要が期待される。 | | | | | | |
| 2 | トクヤマ | ● | | | ● | | |
| | 半導体の大容量化・小型化による恩恵が期待される半導体用シリコン事業では世界大手、半導体材料の強化を進めている。インフラ整備に必要不可欠なセメント製造も手掛けており、首都圏の再開発が本格化する中で国内向け販売数量が増加している。 | | | | | | |
| 3 | オリエンタルランド | | | ● | | | |
| | 今年度は東京ディズニーリゾートの開園35周年を迎え、様々なイベントが開催されるため入園者数の増加が期待される。海外からの入園者数は増加傾向にあり、オフィシャルサイトやガイドマップの多言語化などで受け入れ体制を強化している。6月には「ディズニーシー大規模拡張プロジェクト」を発表、2022年度に東京ディズニーシーを2割拡張し「アナと雪の女王」「ピーター・パン」などをテーマにしたエリアを開業する予定。 | | | | | | |
| 4 | SUMCO | | | | ● | | |
| | 半導体デバイスの中枢を担う基板材料のシリコンウエハーで世界シェア約30%の首位級。シリコンウエハーは、AIやIoTの進展を背景とした半導体需要の拡大で製品需給がひっ迫しており、今後も収益拡大が期待される。 | | | | | | |
| 5 | MARUWA | ● | | | ● | | |
| | 車の電装化、AIやIoTなど半導体に関連する市場が良好な中、それらに関連する製品を製造・販売するセラミック部品事業が好調。LED照明の製造販売も手掛けており、東京五輪を控えて演出性を高めたホテル等向けハイエンド照明を提案している。 | | | | | | |
| 6 | 共立メンテナンス | | | ● | | | |
| | ビジネスホテル「ドーミーイン」を全国に展開しており、インバウンド需要の増加を背景にホテル事業が好調。2017年には神田にハイクラスとして展開しているドーミーインPREMIUMを開業、今後も首都圏では銀座、豊洲、横浜などでホテルの新規開業を予定している。 | | | | | | |
| 7 | 東京都競馬 | | | ● | | ● | |
| | 大井競馬場では、都内最大級の800万球規模のイルミネーションを導入した大規模リニューアルオープンを10月に予定しており、夜の観光スポット化を目指している。遊園地事業の東京サマーランドは、今夏からナイトプール実施で新たな集客を目指している。品川区の勝島地区を中心に倉庫賃貸も行なっており、都心や羽田空港、港湾に近く、物流拠点に適した立地条件を備えている。 | | | | | | |
| 8 | 三井不動産 | | ● | | | | |
| | 2018年は、2月に「東京ミッドタウン日比谷」、6月に「日本橋高島屋三井ビルディング」などの大型ビルが開業。その後も、日本橋・八重洲エリアを中心に多数の新規大型ビルを供給する予定である。ららぽーとや三井アウトレットパークなどの商業施設事業、マンションを中心とした分譲事業なども展開する総合不動産最大手。 | | | | | | |
| 9 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | | | | | | ● |
| | 国内最大の総合金融グループ。傘下の三菱UFJ銀行は、首都圏を地盤とする旧三菱銀行がルーツのひとつであり、三菱グループなどの大企業取引に強い。本邦初となるデジタル通貨「MUFGコイン」の実用化に向け、社内にてQRコード決済の実証実験を本格化。経済産業省と東京証券取引所が共同で選定している「攻めのIT経営銘柄2018」に2年連続で選出。 | | | | | | |
| 10 | 電通 | | | ● | | | |
| | 国内最大の広告代理店。東京五輪のマーケティング専任代理店となっている。東京五輪のスポンサー企業が、大会の呼称、エンブレム、マスコットなどの使用権を活用し、ブランディング広告の出稿を加速させてくることによる恩恵が期待される。 | | | | | | |

※当ファンドで着目する6つのテーマ分類です。

# きらぼし・東京圏応援株式ファンド
# （愛称：きらぼし東京）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

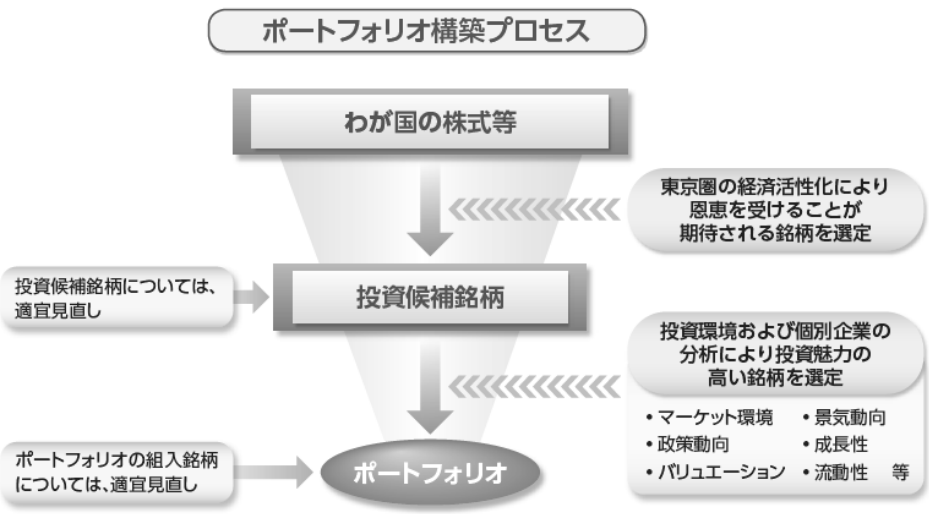
## ファンドの目的・特色

ファンドの目的

わが国の株式等の中から、東京圏の経済活性化により恩恵を受けることが期待される銘柄に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. わが国の株式等の中から、東京圏の経済活性化により恩恵を受けることが期待される銘柄に投資します。
   ※株式等にはリート（不動産投資信託）を含みます。
   ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。
   ●わが国の金融商品取引所上場株式等（上場予定を含みます。）の中から、東京圏の経済活性化により恩恵を受けることが期待される銘柄を投資候補銘柄として選定します。
   ●選定した投資候補銘柄については、適宜見直しを行ないます。
   ●投資候補銘柄の中から、投資環境および個別企業の分析により投資魅力の高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
   ●ポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。




2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
   ・マザーファンドは、「ダイワ・ライジング・ジャパン・マザーファンド」です。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

# きらぼし・東京圏応援株式ファンド
# （愛称：きらぼし東京）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、リートの価格変動）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---|---|---|
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率<br>〈上限〉3.24%（税抜3.0%） | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | ― |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | |
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 運用管理費用（信託報酬） | 年率 1.566%<br>（税抜 1.45%） | 運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 |
| その他の費用・手数料 | （注） | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等　大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

2018年7月31日　現在

## きらぼし・東京圏応援株式ファンド（愛称：きらぼし東京）　取扱い販売会社

| 販売会社名（業態別、50音順）（金融商品取引業者名） | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 株式会社きらぼし銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第53号 | ○ | ○ | | |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。